

高齢者施設における入所者のスクリーニング検査(試行実施)について

東京都ではこれまで施設職員に対して、唾液採取による PCR 検査を実施してきましたが、このたび、都内の養護老人ホーム 1 か所、特養 1 か所に御協力いただき、施設入所者への一斉検査を試行的に実施しました。

試行実施に当たり、両施設とも「高齢者施設における新型コロナウイルス感染症対策強化事業」の補助金を御活用いただきました。

今回は、結果的には全員陰性でしたが、以下のとおり検体採取から発生報告までの一括委託とし、検査方法は PCR 検査よりも早く結果が出る抗原定量検査法を採用しました。

- 1 医師・看護師が施設を訪問し、可能な方は看護師の指導の下、入所者自ら唾液を採取。唾液の採取が難しい方は医師・看護師が鼻腔咽頭から検体を採取
- 2 抗原定量検査法により検査を行い、陽性の場合には、翌日までに電話にて連絡
- 3 陽性となった検体を再度 PCR 検査を行うとともに、協力医療機関の医師とのオンライン診察を経て、確定診断を実施（オンライン診察は貸し出したタブレットを使用）
- 4 確定診断で陽性となった場合は、保健所に発生届を提出。併せて施設所在地保健所にも結果を参考送付

《吉祥寺老人ホーム》

吉祥寺老人ホームは定員 130 名の養護老人ホームです。

養護老人ホームの入所者は、外出機会もあるため、施設としても入所者の一斉検査は関心があったとのことで、快く御協力くださいました。

【実施日】 令和 3 年 5 月 20 日

【実施時間】 8 時 50 分～10 時 50 分

* 8 時 20 分から資材搬入開始、終了後清掃・消毒を行い 11 時半には撤収完了

【実施人数】 118 名（①唾液採取 59 名 / ②鼻腔咽頭採取 59 名）

* 事前に施設側で入所者御本人から検査同意を取ってくださり、当日施設にいらした 118 名全員に実施することができました。

* 予め唾液採取の可否を施設側で判断していただき、唾液採取が難しいと見込まれる 16 名は最初から鼻腔採取のブースに誘導しました。

* また、唾液採取を試みたものの、なかなか唾液が取れない方 43 名も途中から鼻腔採取のブースに誘導し、最終的に 5 割が鼻腔咽頭採取となりました。

当初は所要時間を 3 時間と見込んでいましたが、施設長以下、施設スタッフの御協力で非常にスムーズに予定よりも早い 2 時間程度で終了しました。

入所者様も非常に協力的で、指定された時間よりも早目に会場に集まってくださったため、予定よりも前倒しで速やかに進めることができました。

検体採取のスピッツが小さく蓋の開閉やストローの扱いに苦勞しておられる方もいらっしゃいましたが、会場で様子を見ている施設スタッフの手際のよいサポートで、非常に和気藹々という感じで行ってくださっていました。

唾液採取から鼻腔への切り替えの判断をスタッフの皆さんが適切なタイミングで行ってくださったのが、円滑に行えたポイントです。

鼻腔咽頭採取も施設スタッフのサポートのおかげで、嫌がる方もなく、出血等の事故もなく終了しました。

外出機会もあり、施設内で入所者同士の交流もある養護老人ホームでは、このようなスクリーニング検査を検討されている施設もあろうかと思います。是非、参考にさせていただければと思います。

鼻腔咽頭採取の様子



唾液採取の様子



《特別養護老人ホーム シャローム東久留米》

特別養護老人ホームは、養護老人ホームとは異なり、御家族の面会も制限しており、外部からウィルスを持ち込むリスクは非常に低い施設ではありますが、一層の安心と施設職員の感染予防対策が間違っていないことを確認したいという意味で、今回御協力くださいました。

【実施日】 令和3年6月16日

【実施時間】 9時50分～11時10分（当初予定 10時～15時30分 *採取可能時間帯）

*9時00分より資材搬入開始、終了後に清掃・消毒を行い11時半には撤収完了

【検体採取方法】鼻咽喉ぬぐい液採取

*事前の打合せで、唾液が採取できる方はほとんどいないこと、採取方法に違いがあると入所者様に混乱を生じる心配があることから、全員を鼻咽喉拭い液採取とした。

【検体採取数】64名

*事前に御家族からの同意を取るため、実施日の概ね1か月前に御家族あてに検査の説明と協力依頼の通知を出していただき、御質問等にも対応していただいた。

その結果、定員90名中65名から同意を得て、当日入院中の1名を除いた64名に実施

当初計画では、最初に1階各室巡回して検体採取、その後午前中に3階に設置した採取ブース2か所で3階入所様の採取、昼食の間に採取ブースを2階に移し、午後は2階入所者様の採取と考えていました。

ところが、入所者の皆様が非常に落ち着いておられたこと、施設スタッフの誘導が素晴らしい連係プレーで全く滞りなく行われたこともあり、当初の想定時間を大幅に短縮するスピードで進みました。

そこで、急遽、2階の入所者様を3階に誘導していただき、11時過ぎには採取終了となりました。高齢者の場合、ちょっとした検査で鼻血が出やすいということもあり心配していましたが、まったくトラブルなく終了しました。

施設スタッフの皆様の適切な声掛けで入所者様も安心してくださっていたこと、素晴らしいチームワークでの誘導のおかげと感謝申し上げます。

また、比較的スタッフ配置の融通が利きやすい曜日を選んで実施日を設定させていただき、4名が防護服を着用して接種ブースでのサポート、誘導と本人確認にも4名程度がついていただけたという、手厚いサポート体制を取っていただけたことも大きな要因でした。

スクリーニング検査を検討される場合は、誘導を担当するスタッフにどれだけ人を当てられるかがポイントかもしれません。

1F居室にてベッド上で採取



3F 採取ブースで採取



施設スタッフによる誘導の様子



両施設とも、施設長自ら接種ブースでのサポートに入っていたり、フロア間移動の誘導の指揮を取っていただくなど、全面的な御協力をいただき、予定していた方全員から事故もなく採取することができました。改めて感謝申し上げます。